

# 「ほっとルーム」だより



第114号 平成30年2月1日発行  
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会  
(教育委員会 社会教育課内 TEL21-5130)

**串木野小と照島小**で「おあしす」を開設しました。  
2月は、**荒川小**で「おあしす」を開設します。



1月18日(木)に串木野小、19日(金)に、照島小で、「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」を開設しました。お茶を飲みながら子育ての悩みやお母さんや子どもの頑張りなどをお聞きし語りあいました。  
2月は荒川小で「おあしす」を開設します。お気軽にお立ち寄りください。



串小「おあしす」



照小「おあしす」

## 荒川小学校

- 開設日時 **2月10日(土)**  
(午前11時～11時40分)
- 場所 **生活科室**

**あなたが生きているということは、すごいことなのです。  
普通で暮らせることが 幸せなのです。**

### ～市来小家庭教育学級～

市来小家庭教育学級「さざなみ学級」は、市来小学校の「命の日」、12日にちなんで12月12日(火)に、NPO法人がんサポートかごしま副理事長の野田真記子先生を講師にお招きし、6年生と学級生が、「がん教育、命の授業」を受けました。

まず、6年前にがんにかかった野田さんのお話がありました。そして、この命の授業に参加するはずだったのに、亡くなってしまった「上水流さんの話」でした。上水流さんは、がんになっても目標を持ち、富士登山をしたり、クローチアに行ったりする等、何にでも挑戦する人でした。

「普通で暮らせることが、幸せなのです」という上水流さんのメッセージや、「がん患者は決してかわいそうな人ではない」「自分を1番好きになって欲しい」「死にたいと思ったら1人でいいから味方をつくる」「次の命にバトンを渡そう」等、上水流さんや野田さんのメッセージは、聞く者の心を打ち、涙を拭く保護者もいました。その後、野田先生を囲んで話し合いました。



- 学級生の声**
- 自分の子どもの事を思った。命を大事にして育てて欲しい。
  - 普通に生きていることのすばらしさを改めて思った。

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム：教育委員会 社会教育課内  
TEL：21-5130 FAX：36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも**訪問いたします。

## アンケートへのご協力 ありがとうございました。



市内全小学校の保護者の皆様に、アンケートをお願いしましたところ、ご多用中にもかかわらず、ご協力をいただき、貴重なご意見をたくさんいただきました。深く感謝申し上げます。今後の取組に活かしていきたいと思っております。

アンケート結果の概要は、下記のとおりです。

### 1 家庭教育に対する悩みについて

- 「悩みをもっている」22%
- 「悩みの内容」は、「情報や学習の場」が26%と1番多く、「親子関係」「しつけの悩み」がこれに続きました。「その他」では、「友人関係」や「健康上の悩み」「家庭学習について」など、多様な悩みがありました。

### 2 PTAや家庭教育学級への出席状況及び出席できない理由

- PTA・授業参観は、「ほとんど出席」と「時々出席」を合わせると、95%の出席があるものの、「PTAのみの出席」が多い。「ほとんど出席できない」が、4%あります。
- 出席できなかった理由としては、「開催時刻」が30%、「開催日」が27%。その他の理由では、「土・日や夜なら出席できる」「仕事との関係」「人と接するのが苦痛」等があります。

### 3 周り(地域や保護者同士)との関わりについて

- 多くの人が「ある」と回答「関わりがない」という回答は6%ありました。

### 4 「ほっとルーム」だよりについて

- 「毎号読む」と「時々読む」を合わせると93%の保護者に読んでもらっています。
- 「その名の通り、ほっとします。読む事で目にとまり、心にとまるような気がします」「子育てをしている中で、振り返る良い機会になります」「内容や文章に涙することも」「他の学校の様子が分かって良い」「先輩たちの子育てを参考にしています」等の意見がありました。

### 5 長子家庭の訪問について

- 87%の保護者が「良い取組だ」という意見でした。その他では「希望者のみでよい」や「他の学年も悩みがあるので、他の学年もして欲しい」等の意見がありました。

### 6 「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」について

- 90%の人が、「良い」という回答で「悩みの相談や情報交換の場があるのは心強い」等の意見がありました。
- 「その他」では、「活動が良く分からない」「学校で十分」などがありました。

- 子育てや家庭教育についての悩みをもつ方が22%(171名)いらっしゃいます。長子家庭訪問でお話をお聞きしたり、電話相談や来室相談をお受けしたりしています。また、アンケートで出てきた悩みについては、「ほっとルーム」だよりの「子育てアドバイス」でも、できるだけ取り上げるようにしています。
- 1・2年生長子家庭訪問は、「話したい事があっても、なかなか自分から言いづらい」という家庭もありますので、今後も、1年生の全長子家庭を訪問をさせていただきたいと思っております。ご希望があれば、長子家庭に限らず、どの学年でも訪問しますので、希望日時をお知らせください。
- 「おあしす」は、希望者だけですが、入りやすい雰囲気づくりに工夫し、深刻な悩みの方は、別席を設けるなどの工夫をしています。
- 今後も引き続き、商工会議所や商工会、青年会議所や各事業所へ、「ほっとルーム」だよりをお届けしたり、提言を頂いたりする中で、働いていらっしゃる子育て中の保護者の皆様への支援をお願いしていきます。



